

教育委員会だより

友好市町村交流事業で市浦訪問 町内小学校5年生51人が参加

平成24年度友好市町村交流事業、市浦訪問が6月21日（木）から22日（金）の日程で町内児童（5年生）51人の参加で実施されました。

到着後、市浦小学校で歓迎のセレモニーを行い、五所川原市（旧市浦村）の紹介を市浦小学校児童から受けました。

紹介してくれた文章やイラストはすべて児童の手書きで作られており、とても手が込んでいました。また、発表する時も、児童全員で協力しながら元気よく大きな声で発表しました。

その後は木工センターに場所を移して交流記念品の絵馬作りを行いました。絵馬作りはのこぎりを使って木を切ったり、かなづちで釘を打ったりと難しい作業もありましたが、木工センター職員の指導のもと安全

に作業を行うことができました。工具を使った物作りは小学5年生にはまだ難しいのではと思いましたが、お手本の絵馬とは違う形を作ったり自分で工夫して、楽しそうに絵馬作りを行っていました。



楽しい絵馬づくり

出来た絵馬は市浦小学校に戻り、絵を描いたり、互いに名前を書き入れるなど交流を深めていました。

夕食は市浦小学校PTAの方々がカレーライスと十三湖でとれたヤマトシジミ

を使い、ダシが効いてとてもおいしいシジミ汁や果物を用意してくれました。

2日目、十三湖でのシジミ採り体験

朝食は宿泊施設内の「レストラン中の島」で頂きました。前日の雨で十三湖は濁っており、シジミ採りができるのか市浦の担当者に尋ねてみると、この位の濁りなら大丈夫と了解をもらい、児童にシジミ採りができることを伝えると、とても喜んでいました。



みんなでシジミ採り

シジミ採りはザルを使って湖の砂中にあるシジミをすくってとります。どこにシジミがいるのか児童は浅いところから深いところまで十三湖を歩き回って探していました。取ったシジミ

はみんな持って帰ります。家族で晩ご飯のおかずにしたのでしょうか？

シジミ採りが終わって、いよいよ上ノ国町へ帰る時がきました。その前に道の駅トーサムプラザに移動し、限られた少ないお小遣いを計算して旅の思い出になるものや家族へのおみやげを買っていました。

今回の友好市町村交流事業は小雨が降り、少し寒かったですが日程通り、色々な体験をすることができました。

早川小学校で七夕まつり開催

7月7日（土）早川小では毎年恒例の七夕まつりが開催されました。青森のねぶたをモチーフにした手作りの行灯をリヤカーで引っ張り、石崎の町を練り歩きました。道中、「七夕さま」、「お囃子うた」、「きらきらぼし」を歌いながら地域の方からたくさんのお菓子をもらったようで児童は喜んでいました。

願いを描いた短冊を笹に飾り付けて石崎川の橋に並べました。願いが叶うといいですね。



願いがかなうかな？

児童は「シジミ採りをもっとしたかった」、「市浦の子どもたちと友だちになれた」、「雨が降ったけど楽しかった」など感想を話してくれて満足した様子でした。引率してくれた先生方大変お疲れ様でした。

